

東由利村報

No. 97 1965・7・20

発行
東由利村役場
編集
畑山伝二郎
印刷
KK本間印刷所

第4回定例議会

補正予算119万7千円

6月定例議会は6月25日招集され、次の4議案を原案どおり可決し、陳情1件を継続審議することにした。

■国民健康保険税条令の改正
保険税の税率は次のとおりとする。

- 1 所得割 百分の1.75
- 2 資産割 百分の12
- 3 被保険者均等割 1人570円
- 4 世帯平等割 1世帯1,270円

■村道認定

田代字金森沢より朴沢を経てヨシヤチに至る延長1.001m、巾員3mを村道に認定する。

■一般会計補正予算

今回の補正予算は119万7千円を追加し、総額1億3841万7千円となる。

その主なるは、備品購入費14万4千円（警察官用バイク2台）、参議院議員選挙費14万3千円、家畜診療所

運営費補助35万7千円、基幹林道費10万円、基幹林道2号橋減額51万2千円、小中修学旅行費補助13万4千円、道路災害復旧費18万円

■陳情書

玉米農協より、館合地内に農業倉庫・購買資材倉庫・農機具修理所・自動車庫など新設及び田代倉庫事務所を改造するので、総事業費2267万4千円のうち、997万4千円を玉米財産区から補助を願うものであるが、

倉庫新設は、

政府保管米が少いこと。過剰投資であること。農協合併をおくらせる。玉米財産区管理委員会が結論を出していないことなどから、直ちに採択が出来ないという理由で、これを継続審議にすることとした。

まだ多い婦人の棄権

参議院選挙結果

7月4日行われた参議院議員選挙の本村関係開票結果は次のとおりである。

○地方区

松野、1,888、内藤、1,508鈴木、225

○全国区（100票以上）

公、宮崎正義、321
自、山内一郎、269
社、つるその哲夫、266
自、石谷憲男、235
自、岡村文一郎、216
自、山本茂一郎、172
自、重政庸徳、167
自、西村尙治、136
自、小林章、126

社、鈴木 力、124

社、野上 元、104

○全国区党派別得票数

自、1,972	社、728
公、383	民社、101
諸無、153	共 51
無効、488	

松野・内藤対決のあと

今回の選挙の結果を分析しているうちに、次のようなことを発見した。

	松野	内藤	差
33年	183,651	169,064	14,587
34年	232,721	218,183	14,538
40年	268,586	253,770	14,816

○東由利村

33年	1,486	1,225	261
34年	1,585	1,258	327
40年	1,888	1,508	380

註、33年は補欠選挙

昭和33年以来、7年の年月がたち、投票数も大巾に変わった。にもかかわらず、両氏の得票差は1万4千票の壁を破れないのみか、その差はほとんど僅少である。これは一体どうしたことだろう。

今回の投票率

男、87.55%女85.03%

選挙の浄化に

東由利村青年会

起つ

「明るく正しい選挙推進運動」は「公明選挙推進運動」以来、長年にわたり全国的規模のもとにつづけられて来た。

しかしその実効は一向にあがらないのみか、選挙を重ねるごとに違反は益々増加し、その及ぼす結果は東京都の例を見るまでもなく、真に憂うべき段階まで来てしまった。「選挙の浄化」これはまことに刻下の緊急重大な問題である。そして、その方法は、ただ、「やろうと思う心一つ」で出来る極めて簡単なことである。

「民主」即ち我々の一人一人が主権者としての自覚のもとに、政治に対する一切の責任を自分が負うものとして、正しい選挙を行うだけのことである。

東由利村青年会

では、このことに対し、深く思いをいたし、全組織をあげて「選挙の浄化」をはかることを決議し、今回の参院選を

もって、そのスタートを切った。

先づ次のチラシを会員によって村内全戸に配布し、6月26日には会員有志によるバイクパレードによって全村民に呼びかけるなど活発な運動を展開した。

森林原野調査施行中

本村では今、地域森林計画公有林経営計画のための調査が進められております。

先月10日、県の林業課より斎藤、長谷川、鈴木の三技師が来村し、私有林については森林計画、村有林については経営計画をたてるために、本村内の森林原野を所有者ごとに調査しております。

この調査は今後5年間にわたる本村内の、立木の伐採に関すること。造林や保育に関すること。林道の開設に関すること。森林の保安施設に関すること。

その他施業の方法などについて計画をたてるためのものであります。

この調査には地域の山林にくわしい方のご協力を得て実施しております。

家庭教育の問題点

老方の家庭教育学級で映画「うちの子にかぎって」（これはうちの子にかぎってわるいことはしないと思っている母親が主題）をテーマに話しあった結果、次の4つの点が今後の課題として残された。

①自分の子どもの悪いところはなおさせるけれども、他人の子どもへの注意はよいに出来ない。

②家庭教育は母親だけの責任のようになっているが、父親も責任を持つべきだ。

③家族全体の教育方針が一致しなければ効果をあげることが出来ない。夫婦、老人の思想統一が必要である。

④子どもの心身の発達段階をよくわからなければならない



畜産共進会

第10回東由利村畜産共進会は、6月30日台山馬検場で開催された。当日の山陳頭数は和牛15頭、乳牛42頭で審査の結果は次のとおりである。

和牛、16カ月～24カ月

- 1等賞 玉新田 畑山喜一郎
2等賞 玉新田 畠山 明雄
" 葦沢 佐藤 喜一
3等賞 袖山 佐藤金次郎
3等賞 山崎 小松 良一
和牛24カ月以上34カ月

- 1等賞 松柴 鍛崎 末蔵
2等賞 松柴 小松 繁
3等賞 大琴 鈴木 重男
乳牛、8カ月16カ月

- 1等賞 蔵新田 太田 勇一
2等賞 岩館 阿部彦右工門
" 蔵新田 遠藤 道吉
3等賞 舟木 大庭喜右工門
3等賞 上通 佐藤 雄一
" 宮ノ前 阿部 虎雄
乳牛、16カ月以上24カ月

- 1等賞 中通 小松 文一
2等賞 宮ノ前 大日向左司馬
" 黒淵 佐藤 順一
" 下吹 小野 三郎
3等賞 宮ノ前 大日向喜一
" 湯出野 長谷山 勇一郎
" 寺田 佐藤 広雄
3等賞 島 畑山 田造
乳牛、24カ月以上

- 1等賞 下吹 遠藤 寅雄
2等賞 五海保 遠藤 々吉
" 下通 小松 吉男
" 黒淵 八嶋 俊雄
3等賞 黒沢 小松 真一
" 田代 嶽石 儀助
" 新町 遠藤 運蔵
佐藤県議杯 蔵法内地区
木内県議杯 館合地区

審査員講評(要旨)

和牛

出陳15頭で、近年まれにみる頭数不足であった事は、いかんとするところです。

但し出陳されたものは、いづれも体型資質、又手入れ等すぐれたものばかりで、更に又出陳のほとんどが、県内産で地元出生のものばかりであった事は喜ばしい次第です。

1頭毎の細部については先程お話しましたので省略します。今後の共通した問題点は生後6カ月間の飼育の良否がその牛の一生を決定するので、生れてから6カ月の哺乳、牧草の給与、運動等に充分注意するよう希望します
乳牛、8カ月～16カ月未満
出陳頭数、11

全般的に体型、資質が良好と見られるが、中でも発育標準に達したものの標準に近いものは5頭で、これらはやはり栄養がよく、皮膚に光沢があり軟らかく、巾、深みがあり四肢が強く乳房がよく、非常に結構と思われ、今後一層の飼育管理に留意していただきたい。又発育標準に若干不足している6頭についてはやはり栄養が悪く、皮膚が粗剛であり、被毛も長くなり、巾或いは深みに欠け、体型がくずれかけているのが見られるので、せっかくの乳房の良さが発揮されないのではないかと懸念されますから、今後の飼育管理に特段のご留意をおねがいいたします。

乳牛16カ月～24カ月未満

出陳頭数は17、いづれも種付済のものであります。総体的に見ますと、いづれもジャージーらしい特質を備えており、品位もあり、いきいきとして、乳房の容積形状も良く経産牛になってからは充分に期待出来るものと思います。

唯、今後注意していただきたい点は、発育標準に比較して胸囲はほぼ満足出来るが、体高が低い、即ち体積はあるが、体の深さに対し脚が短かく、バランスを欠いている。これは育成の時の飼養管理特に運動不足が大きく影響しているものと思われます。又、基礎飼料に青草を主体として育成したものの中には、所謂垂れ腹のものがありました。今後は出来るだけ乾草を主体にして給与を行い、運動を十分にさせ、各部のつりあいのとれた、肢脚のしっかりしたもの、即ち強健で連産のきくものを作出されるよう希望いたします。

乳牛24カ月以上

全般的に見まして血統登録牛が多く、品位、体型、資質のすぐれたものが多かったことは非常に喜ばしい。

特に中壱の幅、深さ等充実され、良質素飼料の十分な給与と、育成時の放牧運動等充分であったことがうかがわれました。

又、ジャージー牛の特徴とされている乳器の形状容積に於ては、2～3頭を除いて充分に発揮されており、運動性に富んだ動作の敏しようなど非常によかったと思います。

分校慰問

若林出身の木島初子さんは愛知県蒲郡市三谷町の織物会社に就職しているが、入社以来毎年夏冬休み前に、ノートお菓子、麦茶などを送って、大台分校の子どもたちを慰問している。このたびもノートを送って来た。初子さんありがとう。

低温障害対策など

出穂前後の稲の管理

雪消し以来、あらゆる努力をして稲作はここまで進められて来た。

しかし、これからがまたゆだんの出来ない勝負どころをひかえている。

營養生長から生殖生長へ

7月は稲が營養生長から生殖生長にかわる時期で茎の数がきまり穂の大きさも決定する時です。この時期は水管理の仕方によって根の働が左右され、みのりに影響するし、葉イモチは収量に決定的な打撃を与える穂首イモチにつながる。

収量が増大するためには

- ①分けつさせた茎をできるだけ有効な穂にすること
- ②その茎に出来るだけ大きな穂をつけること
- ③穂についた籾のみのりを高めること
- ④これからのいろいろな障害(低温・倒伏・風水害・病虫害)を最小限にくだめすること

が、これからの稲作管理の要点です。

分けつした茎を有効にし、大きい穂をつくるには、根からの養分の吸取も大切ですが、それ以上に稲のからだ全体に日光をあてることが大切です。むだな分けつをしたり、丈がのびすぎたりしないよう、追肥などには十分注意しなければならない。

今月の末ごろは穂ばらみの前期にはいりますが、このごろ20度の温度が5日間つづくと、他の時期にどんなよい条件であっても2割の減収はまぬかれない。

その頃もし低温が来たら、水管理による低温対策を真剣に実行すべきであります。低温の予報が出ましたら、出来るだけ深水にして保温するように心がけるべきです。

第2回由和畜産共進会

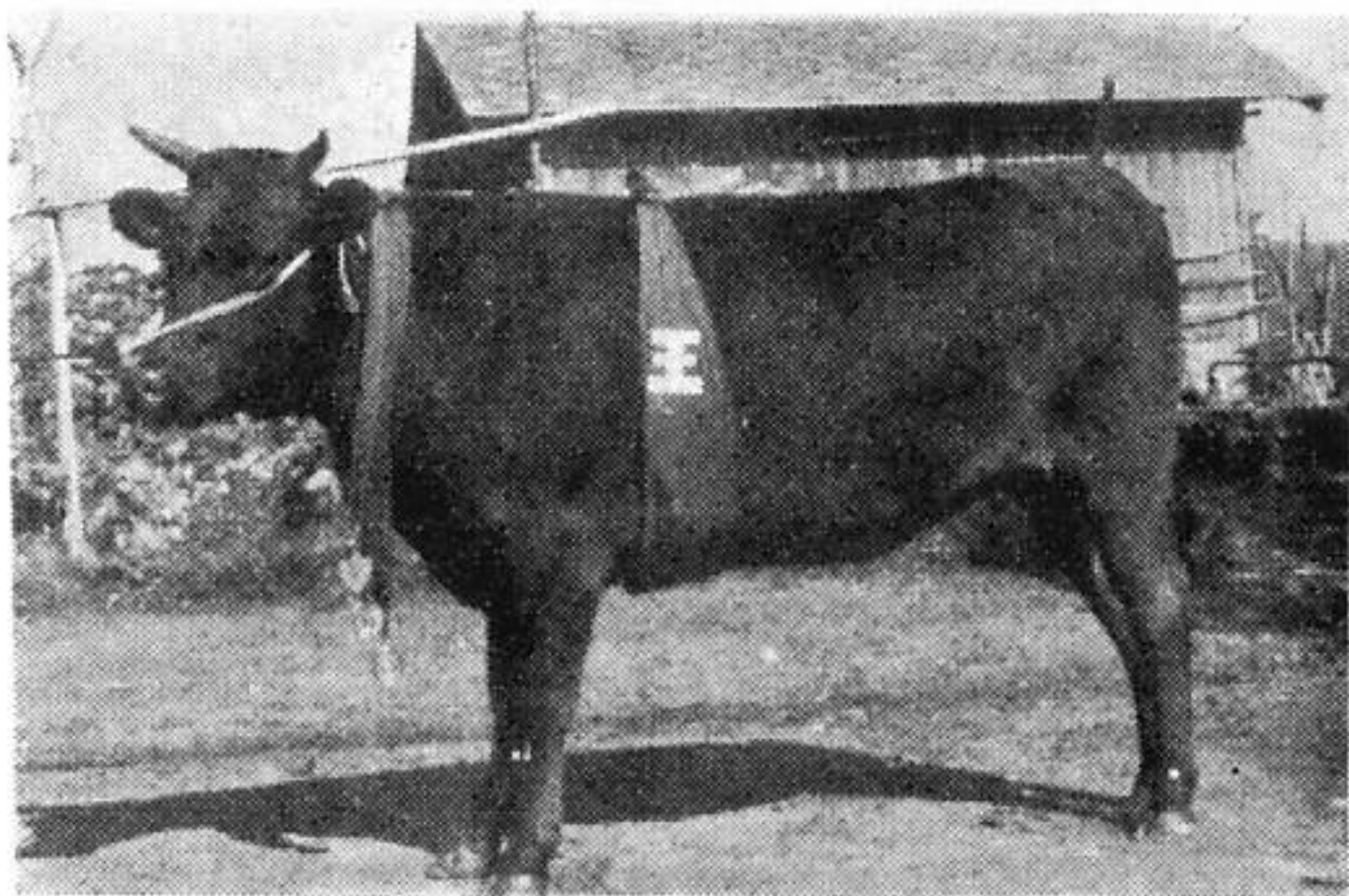
全 部 上 位 入 賞

7月17日本荘市大泉寺山で
の第2回由利畜産共進会に、
本村からは和牛6頭、ジャ
ージー4頭が出陳されたが、全
部が上位入賞した。授与者は
次のとおりである。

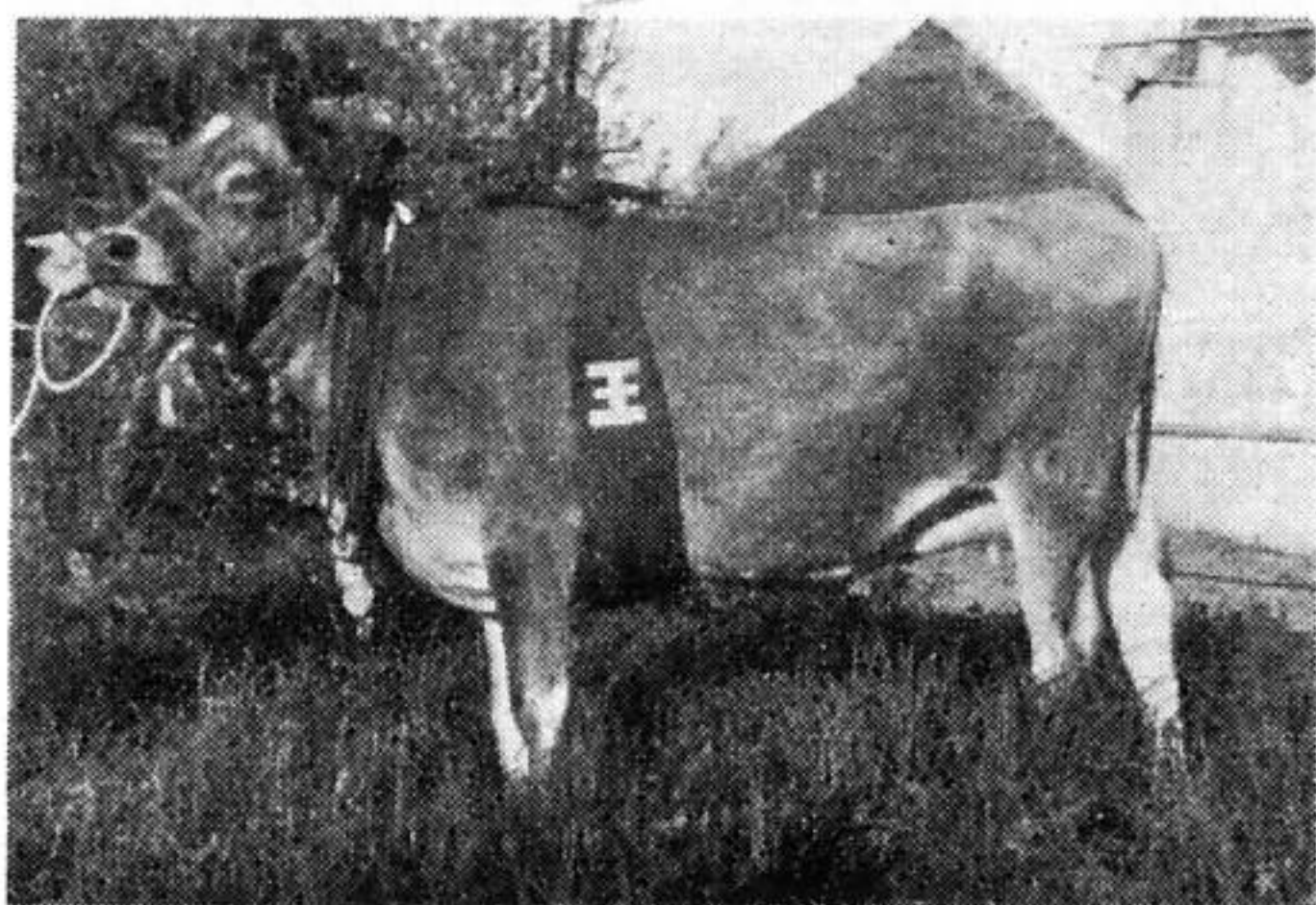
2等	小松文 一	老 方
3等	八嶋俊 雄	黒 淵
和 牛 6頭		
優等	畑山喜一郎	新 田
1等	畠山雅 明	"
"	小松良 一	山 崎
2等	小松勉 子	家ノ下
"	鈴木金次郎	袖 山
"	佐藤喜 市	葦 沢

ジャージー 4頭

優等 大日向左司馬 宮ノ前
1等 遠藤吉 蔵 下 吹



優等賞 畑山喜一郎氏の和牛



優等賞 太日向左司馬氏乳牛

水上安全法講習会

水死事故防止（県民運動）
に呼応して、7月20日役場で
日赤指導員佐々木金一氏指導
のもとに「水上安全法」の講
習を開いた。今回は特に溺者
救助に眼目をおき、人工呼吸
の実技について徹底的な指導
を受けた。

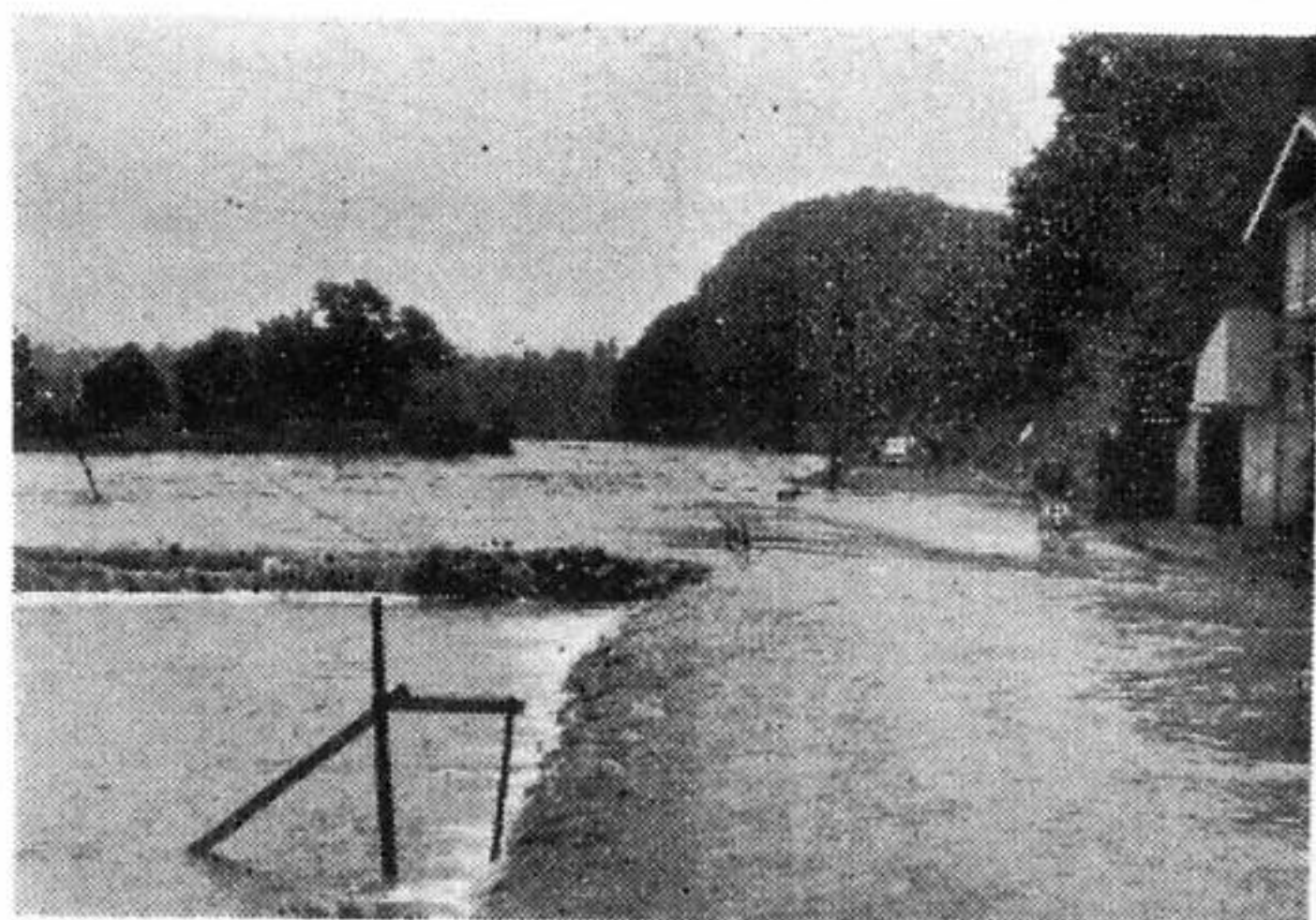
これから夏休みとなり、本
格的な水泳の時期となるわけ
だが、水泳場にはただ監視人
をつけるだけでなく、事故の
場合の救命具を用意するよう

話し合った。

宿巾野では水泳対策として
①水泳場の整備～川底をさら
って土俵で水をせき止め、
速成プールをつくる。

②責任ある有給監視人をおく
③救命具（竿の先に輪をつ
けたもの、先に輪のあるロー
プを用意する。（これは昨
年より宿地区の各部落で実
施）

④水上安全法（人工呼吸な
ど）を部落内小中学生全員
に講習した。



豪雨の被害

7月15日夜明からの大雨で
午後5時までにかかった村内
の被害は次のとおりである。

①流された橋、2

五兵橋（久保）13m

下の橋（茂沢口）7m

②道路決潰

国道3カ所、暗渠1カ所
県道1カ所、山崩れのため
埋没15m

村道、16カ所、220m

③溜池1カ所、氾濫

④山、がけ崩れ、3カ所55m
（内1カ所大谷地千葉広治
氏宅地）

5床下浸水、15戸

⑥堤防2カ所、80m

ワラ沢地区

（上里地内50m・舟木地内
30m）

⑦田、冠水（水にくぐった）
62町2反

老方真木田地内、1町

板戸地内、6反（全部に砂
利がはいった）

寺田・両前寺、8町

島、3町、大谷地、5反

大台方面、3反

黒沢1町5反

蔵から舟木まで、36町9反

八日町久保方面、8町

土場沢高屋方面、1町3反

杉森、1町、舟木、4町

浸水、約150町

新らしい草地の改良法

クロレートソーダ

使用とその効果

クロレートソーダ使用の新
らしい草地改良法の実地指導
を、農近ゼミ酪農学習団を中
心に、村酪農連盟協力のもと
に7月上旬舟打場地区で実施
する。当日は県の草地開発の
係2名が指導にあたることに
なっている。

新らしい方法は、これまで
重に開墾地の殺草剤として使
われていたクロレートソーダ
を使うものです。

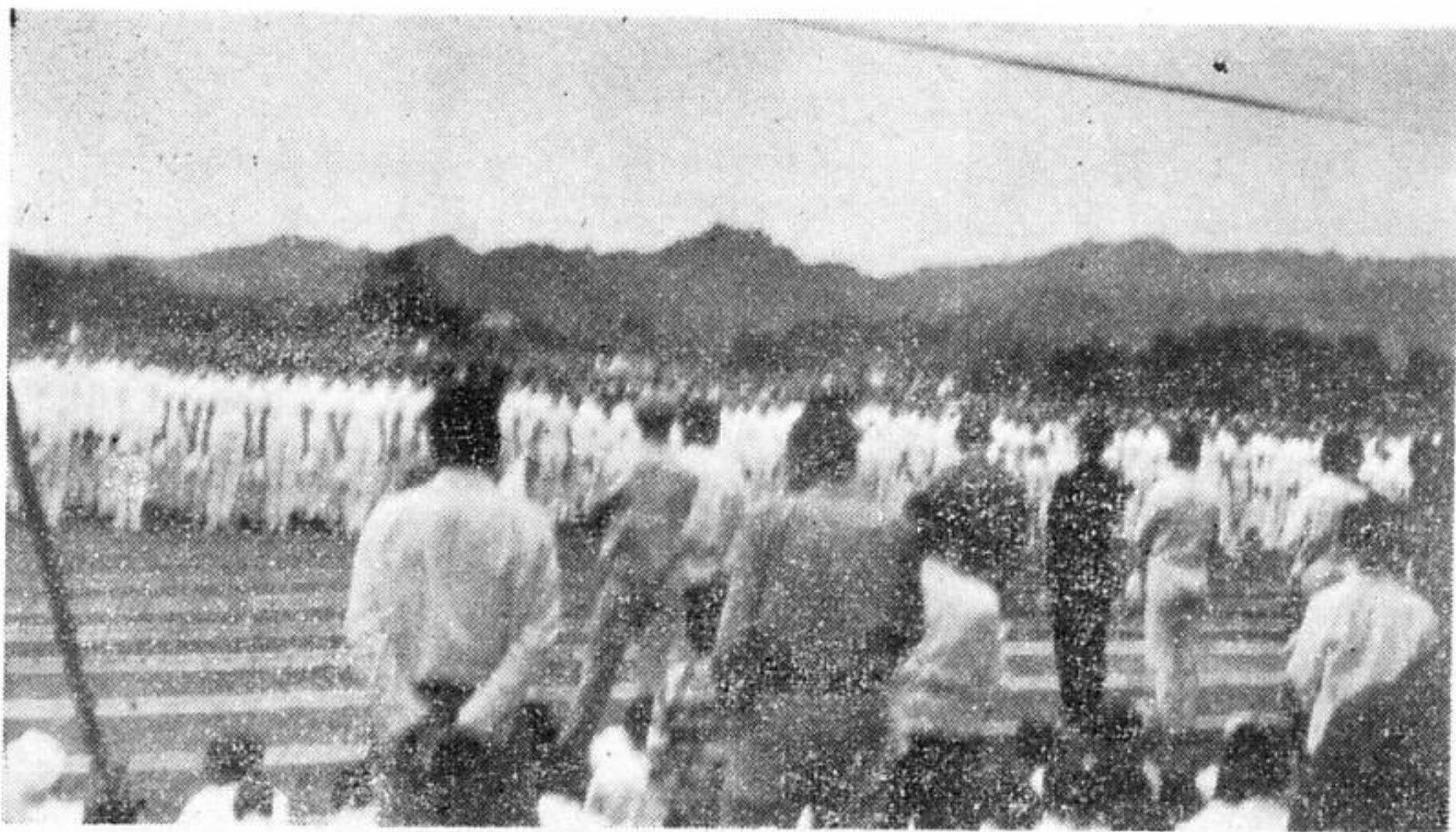
クロレートソーダはどんな
雑草でも柴類でも枯らす強力
な殺草剤で、特に笹類をよく
絶やすので別名笹枯しともい
われています。

これを草木に撒布すると、
直ちにその強力な酸化力で細

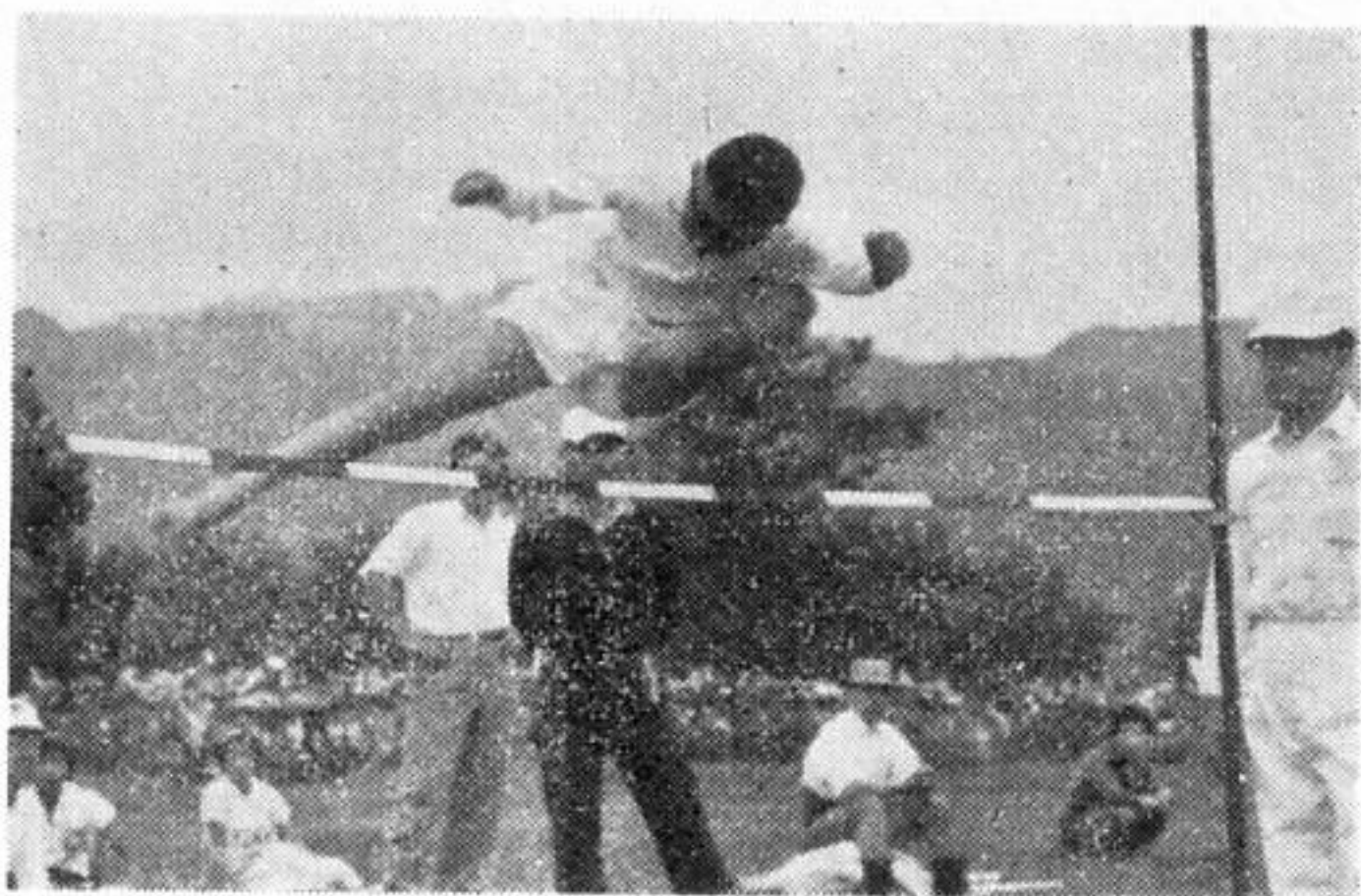
胞を破壊し、細胞から細胞え
と移動しながら根の方にしみ
こんでいきます。

一方土の表面から土の中に
しみこんだクロレートは、根
をいためつけ、そのために地
上の茎や葉をすっかり枯らし
てしまうものです。そればかり
でなく、根がすっかり弱つ
て細いのはボロボロになって
しまうので、土が大変やわら
かくなっているから、鍬又は
レーキなどで簡単に掘り起す
ことが出来るようになります

この方法によりますと、大
型機械を使う必要もなく、急
な傾斜地でも、柴立や笹やぶ
の場所でも、面積の大小にか
かわらず、個人々々が思いの
ままに手軽に草地をつくるこ
とが出来ますので、村の畜産
振興や未利用地開発の面など
から大きな期待がかけられて
いる。



6月19日の連合運動会



社教だより

6月19日、老方家庭教育学級各家庭における家庭教育ありのままを話し合っ対策を考えた。

6月22日、袖山婦人学級午前運営委員会、39年度の決算、40年度の運営計画、予算の原案をつくり、午後全体会

6月29日、蔵家庭教育学級本荘警察署青少年係井島部長、婦人補導官山崎澄子氏を招き、青少年非行の実態と、補導の実際とを聞き、その対策を話し合った。

7月13日、老方家庭教育学級映画「うちの子に限って」をテーマに家庭教育、特にしつけについて話し合った

7月16日、蔵家庭教育学級県婦人児童課、赤田太十一氏を講師とし、映画「農村にのびる子ら」(石沢でうつした記録映画)を見、家

庭の日の実施を中心に、家庭教育のあり方について意義深い学習をした。

7月19日、法内運営委員会公民館法内地区運営計画をたて、県指定法内婦人学級の運営計画をたてた。

7月23日、法内婦人学級開講式、公民館長講演「子どもの教育と家庭」についての学習。

7月26日、移動研修袖山婦人学級生と、湯出野若妻会と合同して、秋田市内の施設、八郎潟干拓地などを見学する。

定期家畜市場

7月2日

	出場頭数	最高	最低	平均
雄	27	60,000	33,100	46,000
雌	28	63,000	83,100	51,700
計	55			48,900
成牛最高		110,300円		
総売上額		2,691,300円		

この夏を健康に

強壯剤のつくり方

蜂蜜ニンニク液

夏やせをする人、病後の人、病弱な人、特に胃腸の悪い人におすすめしたい。

丁度ニンニクの収穫時です蜂蜜1本(4合びん)にニンニク2株分ほどを入れる(すりつぶしてもそのままでもよい)日当りのところに1週間もおけば出来上り。

小さじで2杯位をそのままなめるか、うすめて飲む。胃腸の調整にすぐれたききめがあるのみでなく強壯剤としても貴重なものである。

梅酢醤油番茶液

皇漢医学の大家東方寿先生の処方による強壯剤ですが、胃酸過多症(ムシブが走ってひどくなるとたべ物をみんなもどしてしまう)に卓効がある。茶わんに梅漬の汁と醤油を等分に入れ、これにあつい番茶をついで塩味は好みの量にする。朝一杯でよいけれど暑い日の下刈などに1升びんにつめて行って呑むと疲れを知らない。

公民館審議委員会

6月28日公民館審議委員会が開催され、主として目的、機構、活動の内容について話し合いをした。

目的について

○自主性の養成一戦後外人が

見た日本人とは、如何にも思想的自主性のない不思議な国民と思えたであろう(戦えといえど戦い、やめれといえどやめるような)そこから真の民主主義を育てるねらいで公民館の制度が出来たと思う。○従来の公民館活動と行政指導から来る社会教育との区別公民館活動は人間全体、社会全体に及ぼす効果を抽象的にとらえてその向上を目指す。行政指導から来る社会教育は行政の所管があり、責任者が存在して具体的に範囲がきまっている。

○本来社会教育は住民自らが自らを教育する立前であるのに上からの一方交通的やり方になっている。これを押しつけでなく自主的態度にあらためなければならぬ。

機構について

○公民館の本館を設けること結論として、中央公民館は必要である。しかし村の財政から考えて今は建設の時期ではない。

○分館中心に運営した時と、廃止後の得失についての質問に対し得失というよりは、分館時代の行事中心の活動から、活動団体の自主計画の学習活動に移って来た。

活動内容について

○公民館活動は、全般にわたり均一に効果をあげようと考えるべきでなく、一点集中的にやらなければ効果をあげられない。

○公民館の活動目標をたてるべきでないか、たとえば「ことばの改善、休日の設定のような…」

○児童館・部落会館などがだんだん出来て来た。これを社会教育の拠点として活用することを考えるべきである。

○金のかからない、みんなでやらねばならぬ、誰でも出来る公民館活動例えば子どもを危険からまもるなどを取り上げることにしよう。

□ □ □